

パネルディスカッション

パネリスト・モデレーターのご紹介

杉 眞里子

日本アイ・ビー・エム株式会社 グローバル・テクノロジー・サービス事業開発 ビジネス開発部長

同志社大学卒業後、旅行会社、生保営業インストラクタを経て、NTTドコモに入社。
1996-2010 NTTドコモ法人営業部公共担当としてさまざまな「まちづくりプロジェクト」に参画。2010- 日本アイ・ビーエム株式会社現在に至る。

ユーザー視点を大切にしたい継続するビジネスモデルを考える。
好きな言葉は「チャレンジ」「イノベーション」「発想の転換」。
視点を変えることで起こる、目からうろこが落ちるような体験や、わくわくすることが大好き！



根津 孝太

有限会社 znug design (ツナグ・デザイン) 代表
デザイナー, クリエイティブコミュニケーター

専門分野

工業製品のコンセプト企画・デザイン(自動車・家電・家具・家庭用品・雑貨・玩具他)

主な経歴

1969年東京生まれ。千葉大学工学部工業意匠学科卒業。トヨタ自動車(株)を経て、2005年(有)znug design を設立。トヨタでの代表作はコンセプト開発リーダーを務めた愛・地球博の『i-unit』。

官公庁主催事業講師

文部科学省「産学連携による実践型人材育成事業」、経済産業省「社会参加型ニューグリーンプロダクツ創出調査事業」

大学招聘講師

慶応大学 SFC, 産業技術大学院大学, 千葉大学, 日本工業大学, 武蔵野美術大学, Romanian American University

企業セミナー

Autodesk, 住商情報システム株式会社, ソニー, ダイハツ工業, トヨタ自動車, 博報堂

活動実績等

自動車をはじめとする工業製品のコンセプト企画とデザインを手がけながら、ミラノサローネや100%デザインなどで作品を発表。2011年バリメゾン・エ・オブジェ経済産業省『JAPAN DESIGN +』出展。グッドデザイン賞、ドイツ iF デザイン賞、他多数受賞。



田嶋 伸博

電気自動車普及協議会 代表幹事

1950年石川県生まれ。1968年からモータースポーツ界で活躍。主にラリーやダートトライアルを得意とし、過去5回にわたりアジア-パシフィックラリー選手権の2輪駆動部門でシリーズチャンピオンを獲得。1995年と2006年から11年までの6年連続でアメリカのバックスピーク・インターナショナル・ヒルクライムで総合優勝を飾り、「モンスター田嶋」の通称でも知られる。

一方、自ら起業し代表取締役を務める「タジマモーターコーポレーション」では、レーシングカーの開発・製造で培った技術を基に、大手メーカーの試作車や先行開発車の企画・開発・製造を行なっている。また、輸入車を中心に正規自動車ディーラーも多店舗展開するなど実業界でも活躍。電気自動車普及協議会の設立に尽力し、設立時には、EVコンバージョン委員会委員長を兼任。EVコンバージョンガイドラインの策定を進めた。2011年3月には、代表幹事に就任。超小型モビリティ委員会 委員長も兼任し、現在に至る。



黒岩 隆之

株式会社JTBコーポレートセールス 環境マーケットプロデューサー

1993年 (株)日本交通公社入社、団体旅行新宿支店配属後、17年間、企業営業を担務(社員旅行、報奨旅行、視察旅行、イベント、販売促進 等)、2009年にエコポイント事業のJTB内の総責任者として、事業展開を行う。

2011年 (株)JTB法人東京 マーケティング部に配属、環境マーケットにおける国策に連動した、新たな事業領域の拡大と地域貢献(活性)を創造するプロデューサーに着任。

2011年12月に(株)日本ユニシスと協業で、EV・PHVユーザー向けの充電課金認証会員サービス事業を起ち上げ、普通充電器(目的地充電網)の販売・設置事業を開始。

2012年10月15日より会員サービス事業も開始する。

同時に、EV・PHVを活用した、EVモビリティ観光活性化事業も展開。

環境省の地球温暖化対策事業(技術開発事業)で、鎌倉でのEVバイクのバッテリーシェアリング実証事業、地域における市場メカニズムを活用した取組モデル事業で、観光アプリを活用した京都クレジットの流通メカニズム構築実証事業なども手掛ける。



木内 健雄

株式会社本田技術研究所 MEV研究室 上席研究員

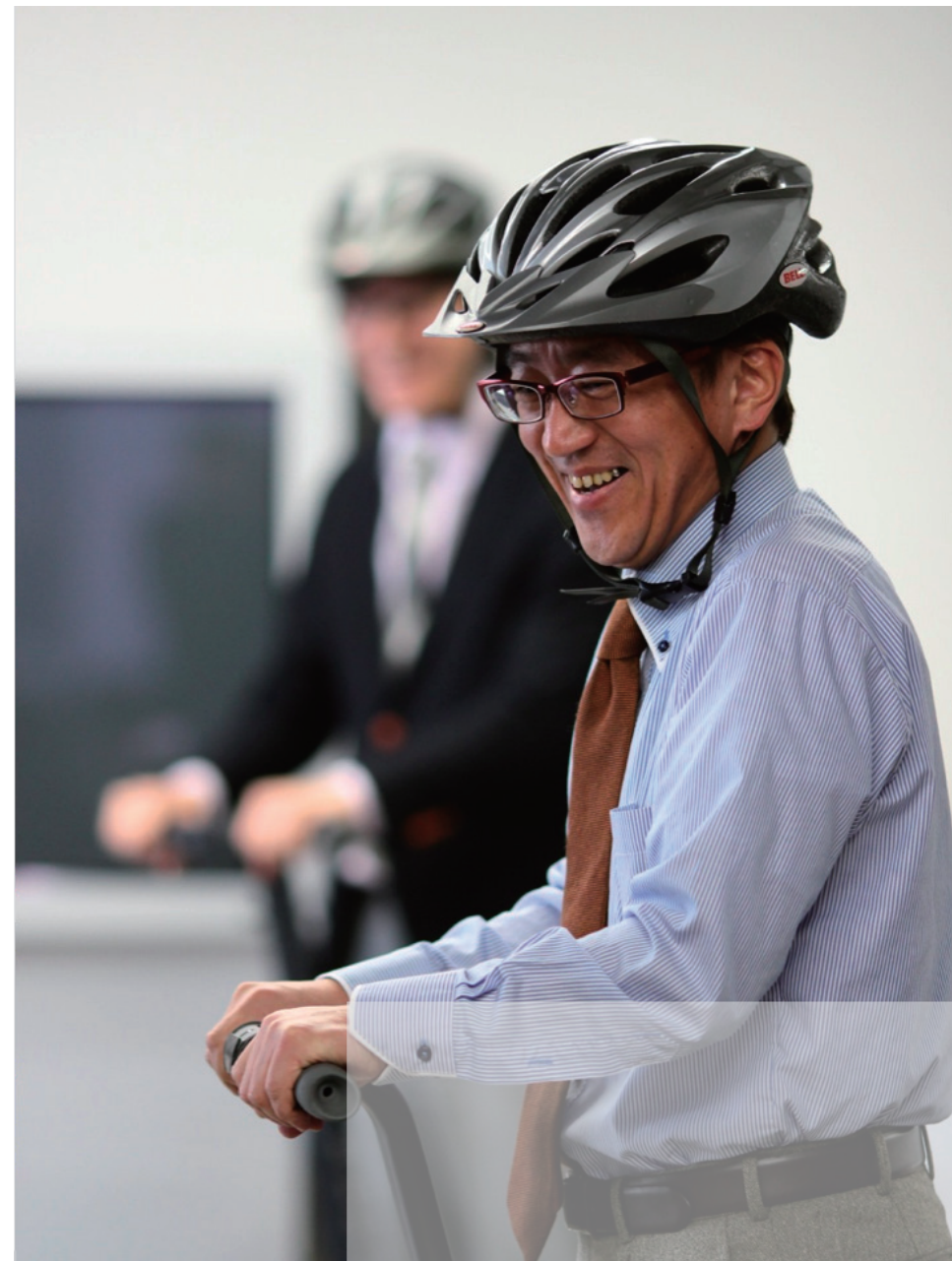
1956年生れ。
1981年、本田技研工業入社。量産エンジン、F-1等のシステム開発を担当。
1994年、電動パワープラント研究部門マネージャ就任EV、HEVシステム開発に従事。
2005年、上席研究員就任、電動車両等将来技術研究を担当。



東浦 亮典

東京急行電鉄株式会社 都市開発事業本部 企画開発部長

1985年 東京急行電鉄入社、自由が丘駅員、大井町線車掌を経験。
現在、都市開発事業本部企画開発部統括部長。
東急沿線のマーケティング、街ブランディング、開発の仕掛け、仕込みを担当。



島原 万丈

株式会社リクルート住まいカンパニー 住まい研究所 主任研究員

1989年株式会社リクルート入社、リクルートリサーチでのマーケティングリサーチ、結婚情報誌「ゼクシィ」のマーケティング担当を経て、2005年より現職。消費者視点での調査研究をもとに、ストック型社会の実現にむけた住宅産業の在り方について執筆、講演など提言活動に従事。



星 明彦

国土交通省 自動車局 環境政策課 自動車使用適正化対策官

成長戦略やエネルギー・環境政策を担当。エコカー減税・補助金、超小型モビリティなどエコカーを活用した新たなまちづくり、省エネ技術や制度・政策の海外輸出など。



染井 洋二

さいたま市経済局経済部産業展開推進課 課長

1978年4月岩槻市役所に入庁し、再開発等のまちづくりや商工振興を担当。
2005年4月さいたま市合併後は、経済畑を中心に観光振興、中小企業支援、企業誘致を担当し、2011年4月より現職。



深谷 信介

株式会社博報堂 次世代電動生活ラボ

慶応義塾大学文学部人間関係学科卒
東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻(まちづくり大学院)在籍

環境省・環境対応車普及方策検討会委員
名古屋大学招聘教員

メーカー・シンクタンク・外資系エージェンシーなどを経て、博報堂入社。
マーケティング部門にて、担当得意先の事業戦略・新商品開発・コミュニケーション戦略等のソリューション業務やソーシャルテーマ型ビジネス開発に携わる。広告・宣伝・販売促進などのコミュニケーション領域を核に、コンサルティング・マーケティング領域からクリエイティブ領域までの幅広い職務を、クライアント・広告会社双方にて、グローバルで経験し現在に至る。



久川 桃子

日経 BP 社 ecomom プロデューサー

日経ビジネス記者を経て、ecomom(エコママ)プロデューサー。
環境意識の高いママ向けに、直送する無料の雑誌&ウェブで生活情報を発信。エネルギーやクルマ事情にも関心の高い読者との双方向のコミュニケーションが特徴。
2月には、国土交通省主催の超小型モビリティ～首都圏郊外まちづくりにおけるモニターイベントに協力し、読者7家族をモニターに選出した。



楠田 悦子

モビリティビジネス情報誌「LIGARE」編集長・海外取材担当

スイス留学時に、鉄道・バス・トラム・フェリーの乗り放題ができ、バリアフリーに基づくモビリティサービスに触れる。また、姉の入所施設のあり方に疑問を感じ、欧州と日本の重症心身障害者施設のQOLについて卒業論文を書いて以来、日本国内のQOLについて興味を持ち始める。2012年よりLIGARE編集長として、モビリティ（人流と物流）分野から、まちが抱える諸問題の解決策の追求と新たな価値創出に向け、国内外のメーカー、行政、サービス、市民活動取材。2013年より西宮市都市交通計画委員を務める。

モットーは"Let's make every day a little happiness".



LIGARE

ひと・まち・モビリティ

リガーレ

Mobility & Quality of Life 「移動」のイノベーションがQOLを向上させる

～移動が“身近に、楽しく、オシャレ”に～

人の移動分野は、医療分野と並ぶ成長分野に位置づけられています。私たちはビジネス情報誌「LIGARE」やセミナーを通じ、セクターや業種を超えて人と人を結び、新たなイノベーションが常に沸き起こるために必要な情報と場の提供を行います。

持続的な価値の創出がスパイラル的に起こり、Quality of Life の向上につながり、成熟した社会のライフスタイルの実現を目指しています。

最近の主な活動 ～モビリティとライフスタイルの未来をデザインする～

- ・ LIGARE ビジネスセミナーの開催 (2012 年 9 月～)
- ・ 関西 EV イノベーションネットワーク会議の開催 (2011 年 11 月～)
- ・ 超小型EV研究会の開催 (2012 年9月～)
- ・ ファッションと関係づけ、女性目線でクルマをデザインするとどうなる?! (2012 年 10 月～)
- ・ 若者のクルマ離れは果たして本当か? (2012 年 6 月～)
- ・ バスの未来を考える会 (2012 年 7 月～)
- ・ 乗りたくなるタクシーとは? (市場調査) (2011 年 10 月)

最近の主な記事 ～海外・国内のモビリティ関連情報をいち早く～

Car2go 現地取材・COO 単独インタビュー、スイスモビリティ、EV 台湾、EDV01、特集選ばれるタクシーを目指して (スマートタクシー、全国タクシー配車、ヘイロー・ネットワーク・ジャパン)、オートリブ現地取材、ボロレ社単独取材、ジュネーブショー (EV 特集)、WP29、Times 24×BMW 対談、超小型 EV 特集、トヨタエコフルタウン、特集沖縄 EV 革命、ホンダ 埼玉県の水素システム実証実験、JTB 観光 ×EV× 充電インフラ、パリモーターショー (モビリティの潮流)、欧州の小型 EV 特集 (L6e、L7e)、富山のモビリティ革命、モビリティサービスプラット moovel、横浜市・日産の超小型モビリティ実証実験、オートリブ開始から1年、スティグマを感じさせないデザイン、イノラボ ×AZAPA ソーシャルシティなど。(順不同)





モビリティサービス専門誌 LIGARE(リガーレ)

読者プロフィール:

30代～50代の経営・管理職層が中心、自動車関連産業以外の読者も増加中。

1. 官公庁・地方自治体と関連企業など
2. 自動車産業を中心とした次世代自動車の開発と関連企業
 - ・ビジネス、電気自動車メーカーとそのパーツメーカー
 - ・ITSとICT関連、住宅メーカー、ショッピングセンター
 - ・モビリティマネジメント、システム開発関連、カーシェアリング、情報インフラ、都市計画、コンサル企業など

販売ルート

直売:自動車新聞社オンラインショップ(自社ECサイト) / 代理店:富士山マガジンサービス

毎月10日、月一回発行。A4変形カラー、約80ページ。



Interview :

Rainer Becker COO car2go

ディムラーが考える「New Mobility Concept」とは？

レンタカーより短時間利用を想定し、会員間での車両の共同利用を考案したカーシェアリングは、世界中で急速に普及している。日本でも、自動車メーカーや通信会社、小売店、不動産会社など、様々な企業が参入し、新たな市場を開拓しようとしている。Rainer Beckerは、この市場のリーダーとして、カーシェアリングの未来を語る。



「若者の車離れ問題」と「Individual Mobility」

——日本人にとって、なぜ自動車メーカーであるディムラーがカーシェアリングに本腰を入れたのかを聞きたいのですが、なぜなのでしょう？

ベッカー氏：自動車メーカーであるわれわれの国は、多くの自動車保有者を持つ国です。しかし、日本では、自動車保有率が低く、都市部では、駐車スペースが不足しています。また、若者の車離れ問題も、大きな課題となっています。カーシェアリングは、これらの課題を解決するための一つの手段です。また、カーシェアリングは、都市部の交通渋滞を軽減し、環境に優しい移動手段を提供することができます。日本では、カーシェアリングの需要が高まっており、私たちはこの市場を開拓するために、カーシェアリングのサービスを展開しています。

——日本人にとって、なぜ自動車メーカーであるディムラーがカーシェアリングに本腰を入れたのかを聞きたいのですが、なぜなのでしょう？

ベッカー氏：自動車メーカーであるわれわれの国は、多くの自動車保有者を持つ国です。しかし、日本では、自動車保有率が低く、都市部では、駐車スペースが不足しています。また、若者の車離れ問題も、大きな課題となっています。カーシェアリングは、これらの課題を解決するための一つの手段です。また、カーシェアリングは、都市部の交通渋滞を軽減し、環境に優しい移動手段を提供することができます。日本では、カーシェアリングの需要が高まっており、私たちはこの市場を開拓するために、カーシェアリングのサービスを展開しています。

「New Mobility Concept」とは？

ベッカー氏：これは、従来の自動車保有モデルとは異なり、自動車は、個人の所有物ではなく、社会の共有資源として扱われることを目指しています。また、自動車は、個人の所有物ではなく、社会の共有資源として扱われることを目指しています。また、自動車は、個人の所有物ではなく、社会の共有資源として扱われることを目指しています。

Autolib' After 1 Year.



フランス自動車シェアリング「Autolib'」開始から1年

2011年12月5日のEVカーシェアリングサービス「Autolib'」開始1周年を記念、前記の通りです。

Autolib'は、パリ市内の主要な観光地や商業地区に、約1,000台の電気自動車（EV）を配備しています。このサービスは、パリ市内の交通渋滞を軽減し、環境に優しい移動手段を提供することを目的としています。

また、Autolib'は、パリ市内の主要な観光地や商業地区に、約1,000台の電気自動車（EV）を配備しています。このサービスは、パリ市内の交通渋滞を軽減し、環境に優しい移動手段を提供することを目的としています。

「特集」カーシェアリングに激しい動き



ベッカー氏とディムラーが、カーシェアリングの未来について話し合っている。

対談:タイムズ24とBMW「カーシェアの可能性は？」

国内の自動車シェアリング市場は、急速に拡大している。特に、都市部では、駐車スペースの不足や、交通渋滞の軽減などの理由から、カーシェアリングの需要が高まっている。この特集では、国内の主要なカーシェアリング事業者と、自動車メーカーの代表者が、カーシェアリングの可能性について話し合っている。

ステイグマを感じさせないデザイン

連載シリーズ 第2回



Paragoは、都市部の交通渋滞を軽減し、環境に優しい移動手段を提供するための新しい移動手段です。このデザインは、都市部の交通渋滞を軽減し、環境に優しい移動手段を提供するための新しい移動手段です。

多種多様なアクティビティをかなえる

Paragoは、都市部の交通渋滞を軽減し、環境に優しい移動手段を提供するための新しい移動手段です。このデザインは、都市部の交通渋滞を軽減し、環境に優しい移動手段を提供するための新しい移動手段です。